

## 地域を見守るために

10月16日、本町と生活協同組合コープさっぽろの間において、地域の見守り活動に関する協定を結びました。

この協定により、コープさっぽろが配達などで本町を巡回中、訪問世帯の洗濯物が長く放置されているなど、普段と異なる状況を見かけた際に、役場等へ通報することとなりました。

協定式に出席したコープさっぽろの山口氏からは「近年、業務中のこうした事例が増え続けているので、可能な限り協力していきたい」と、心強い言葉がありました。



## 交通安全を呼びかける

9月27日、秋の交通安全運動期間に合わせて、安全運転の呼びかけを目的とした街頭啓発が、北村地区コミュニティセンター前で実施されました。

上ノ国小学校の児童会、上ノ国中学校の生活クラブ、上ノ国高校のボランティア部の生徒計35名が参加し、路肩に誘導された車両1台1台へ、声掛けと啓発パンフレットなどの配布を行いました。

生徒達は「事故で悲しい思いをする人が出てほしくない」と、最後まで呼びかけておりました。



## 元気に体を動かそう

10月24日、町民体育館において、第35回上ノ国町高齢者スポーツ大会（上ノ国町老人クラブ連合会主催）が開催されました。

大会には、町内各地区の代表で構成される14チーム196人が出場し、全9種目の競技に積極的に挑んだ結果、小森・新村チームが総合で1位を獲得し、2位に湯ノ岱・豊田チーム、3位に石崎・小砂子チームと続きました。

大会の運営には上ノ国高校ボランティア部の生徒が協力したほか、昼食中に上ノ国保育所園児たちが踊りを披露するなど、多くの人が協力して大会を盛り上げていました。



## 伝統芸能を楽しむ

10月2日、町内の保育園児を対象とした民族歌舞団こぶし座の施設公演が上ノ国保育所で行われました。

この公演は豊かな心と芸能への関心を育むことを目的に行われており、園児達はソーラン節や江良杵振り舞などを見たあと、出てきた獅子舞を見て驚いたり、出演者と一緒に太鼓をたたいたり楽しんでおりました。

